

大学コンソーシアム大阪 地域連携 学生フォーラム in Osaka 2023 発表学生 募集要項

1. 開催趣旨

- ・学生が地域と関わりながら取り組む研究活動やボランティア活動等について発表を行い、フォーラムを通じて他大学の学生と交流することによって地域連携に取り組む意欲の高揚を図る。
- ・地域との連携を行ううえでの配慮ポイントやノウハウを会員大学や自治体等で共有、発信することにより、会員大学の地域連携活動の活発化を目指す。

2. テーマ

「大阪の3つの輪・和・話 ～学生パワーで明るく笑顔つながる大阪に～」

3. 開催概要

日 時：2023（令和5）年10月22日（日）10：00～17：00

会 場：グランフロント大阪 北館タワーC 8階

ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC RoomC01+C02

アクセス：<http://www.kc-space.jp/accessmap/>

※社会情勢に応じて開催内容が変更となる場合があります。

4. 募集対象

大学コンソーシアム大阪の会員大学に在籍する学生、大学院生、留学生

5. 参加単位

不問

※複数大学の学生によるグループも可（主たるメンバーが会員大学の学生であること）

6. 発表対象の活動

- ・ゼミ単位で学生が地域と連携して取り組む研究活動、フィールドワーク、事業
※大学によるセミナー、シンポジウム、公開講座、調査サンプルのみの地域協力等は除く
- ・学生が主体となって地域と連携して取り組んでいる活動
例）グループ、サークル、ボランティア等による地域活動やまちづくり活動への参加

<留意点>

- ・活動の進捗度（過去の実施事業、現在進行中など）やテーマは原則問いません。
- ・発表数が予定を大幅に超える場合や発表内容が開催趣旨から逸脱している場合は、学生運営メンバーによる調整を行う場合があります。

7. 当日のスケジュール（予定）

※発表数に応じてスケジュールや内容を変更する場合があります。

時 間	内 容
9:30～	開場・受付
10:00～	開会挨拶・趣旨説明
	学生発表（発表15分+質疑応答5分） ※適宜休憩、交流企画あり
17:00	閉会挨拶

8. 応募から当日までのスケジュール

<STEP 1 応募方法>

締切日	8月25日(金)17:00まで
提出物	エントリーシート
エントリーシート ダウンロード先	https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/gakusei_forum
提出先	大学コンソーシアム大阪 オンラインストレージ https://conso-osaka-storage.com/
留意点	エントリーシートの記載内容の一部について発表概要集や報告集に掲載しますので、誤りがないよう十分留意してください。

<STEP 2 発表スライド資料送付>

締切日	9月15日(金)17:00まで
提出物	発表スライド(PDFファイル)
提出先	大学コンソーシアム大阪 オンラインストレージ https://conso-osaka-storage.com/
留意点	<ul style="list-style-type: none">・スライド枚数は最大24ページまでとしてください。・1ページ1スライドとしてPDFファイルに変換してください。・資料を引用する場合は出典元を明記し、著作権侵害がないよう十分留意してください。・提出された資料は発表概要集や報告集に掲載します。

<STEP 3 フォーラム当日>

発表形式	<ul style="list-style-type: none">・発表時間は20分とします。(発表15分、質疑応答5分)。・小道具の使用やコスチュームの着用は発表者の任意とします。
------	---

9. 成果の活用

- ・大学の地域連携活動について情報を集約し、学生フォーラムの報告集、周知用リーフレットやホームページに掲載し、自治体・地域関係者等に対して大学との地域連携事例を発信します。
- ・大学コンソーシアム大阪が地域と大学との連携をコーディネートする際の参考とさせていただきます。

10. 問い合わせ先

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 事務局(地域連携担当)

電話:06-6344-9560(平日:月~金 9:30~17:30)

メール:chiiki-renkei★conso-osaka.jp ※★を@に変えてください

参考：「地域連携 学生フォーラム in Osaka」に期待される効果

		学生にとって	教員にとって	自治体・地域
期待される効果	学習	<ul style="list-style-type: none"> ・他大学の教員からの講評を得ることができる ・自治体職員など現場の声で講評を得ることができる ・発表成果をコンソーシアムで情報発信することでやり甲斐を得ることができる（活動点検） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他大学のフィールドの把握や地域との関わりの参考となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携のスキームを共有できる
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・他大学・異分野の学生との交流ができる（自己点検） 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの学習機会を用意できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代との意見交換（ニーズや課題の把握）が可能となる

